

2016 年度 湘南地区連絡協議会道路調査

日 時 2016 年 10 月 24 日 (月) 09:00~16:00

場 所 ①藤沢駅周辺
②茅ヶ崎駅周辺

行動者 澤谷 遼 (全日通)・中針 実 (全日通)・竹内 浩 (ヤマト厚木)
田巻重雄 (ヤマト厚木)・藤波清人 (ヤマト横浜)・山本 茂 (ヤマト横浜)
井上勝利 (日通湘南物流)・望月 (県連)

湘南ブロックは、24 日、26 日各地域で道路実態調査を行った。

湘南地区連絡協議会は、藤沢周辺・茅ヶ崎駅周辺道路を調査した。特に今回は、放置車両取締りの実態も調査対象になっている。

藤沢駅周辺



①の道路は、車・人の混在する危険地帯となっている。バスは交互通行であり、荷捌き車両も多いことから何かしらの対応（規制）が必要な場所である。

しかし、監視員の取り締まりは無く、ある程度は容認されているように感じられた。

②の道路は、①同様、さらに一般車両が含まれるが、荷捌き車両がないため歩道の確保が必要。

③の道路は、荷捌き車両が多いところ。

④道路には駐車スペース（路上コイン駐車）があるため違法駐車はなかった。



茅ヶ崎駅



茅ヶ崎駅周辺には2トン車の駐車できる場所がないのに、取締りが厳しいとの情報。駅周辺（海側・山側）にて聞き取り調査を行いました。

海側では、たまに取締りを行っているようだ。多いのは山側、駅周辺、特に赤枠の部分で多く取締りを受けていると聞きました。

山側、駅前を中心に監視員との遭遇を望んでいましたが、空振りに終わってしまいました。

★②には、パチンコ屋に行くための自転車なのか通勤なのかわかりませんが、写真のような状況。

★①には、スペースがある。有効利用をすべきであり、コイン駐輪を検討すべきである。



大矢藤沢市議を交え意見交換